

京大病院医療安全情報92

【血液検査に関する豆知識】

血液検査にまつわるインシデント報告が2件ありました。
「これってどうなんだろう？」と思うことがあれば、まずは検査部に問い合わせてみましょう。場合によっては臨機応変に対応して頂けます。

事例①【血液像目視検査に関すること】

好中球数 $500/\mu\text{l}$ 以上がエンドキサン投与の条件であり、医師は血液検査の機械計算で $520/\mu\text{l}$ であることを確認し、調剤確定した。その後、目視検査で $410/\mu\text{l}$ であったため投与を中止した。調剤済みのエンドキサンが破棄となった。

KINGの血液検査結果画面

血液検査(像)	
血液	
血液像目視	像目視中
Neutrophil	83.2
Lymphocyte	8.6
Monoocyte	7.0
Eosinophil	0.2
Basophil	1.0
LYMPH#	0.44
NEUT#	4.28

目視検査が終了したら、「像目視済」に表示が変わります。

目視には±10%程度の誤差があります。
機械カウントと目視で数が違う場合は、追加目視することも可能です。
検査部に相談の上、“投与するか中止するか”を決定することもできます。

インシデント報告に基づいた情報共有です

京大病院医療安全情報92

検査部に問い合わせで正しい知識を得よう

事例②【緊急検査室用Qスピッツに関すること】

定期の採血オーダーがあったため、看護師が採血（A・B・Hスピッツ）を実施した。その日は休日であり、休日用の採血オーダーになっていないことに次勤務者が気づいた。休日採血ではHスピッツではなく、Qスピッツで採血する必要があり、患者に謝罪して再度採血した。

時間内生化学検査の容器【H】
（検査項目数によりF,G,Iの場合あり）

『血清*』
で検査しています

*血液を凝固させ、
遠心して得られる上清です



緊急検査室用の生化学検査の容器【Q】

『血漿**』
で検査しています

**血液を凝固させずに、
遠心して得られる上清です



緊急検査室の生化学検査は、Qのところ誤ってHで採血してしまっても、アンモニア以外は検査可能です。

検査部では、検査項目、検査試薬、検査機器などの特性を考慮し、スピッツ選定をしています。

スピッツを間違えて採血したけど使用できる？
と迷った時には、検査部に相談しましょう。

検査に関するお問い合わせ：検査部 2-2147